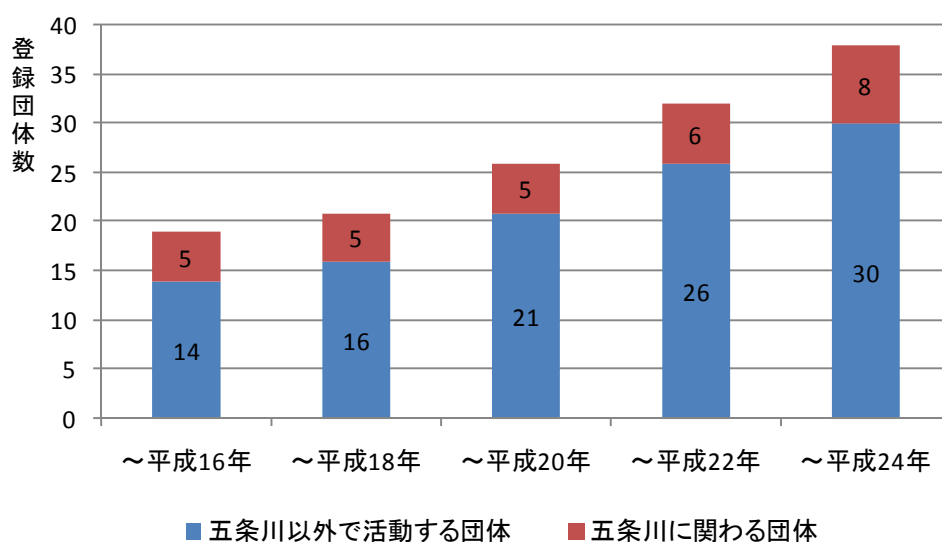


## 第2章 市民等の活動と意向の把握

### 2-1 市民等の活動の状況

五条川に関わる市民等の活動は、水辺まつりやクリーンアップ五条川などのイベントのほか、小学生による水生生物調査（岩倉ナチュラルリストクラブ、岩倉の水辺を守る会による支援）、さらに、桜並木や花壇の管理などの緑の保全・緑化活動などが挙げられる。

また、ボランティアとなる市民や団体が公園・道路等の美化活動を行うアダプトプログラムによる活動が市内各地で実施されている。五条川では8つの個人・団体が活動している。なお、アダプトプログラムの登録団体は、制度の設立から徐々にその数を増やしており、平成24年5月現在、市内全域で38団体となっている。



注1) アダプトプログラム制度は平成15年4月設立

注2) 平成24年5月現在

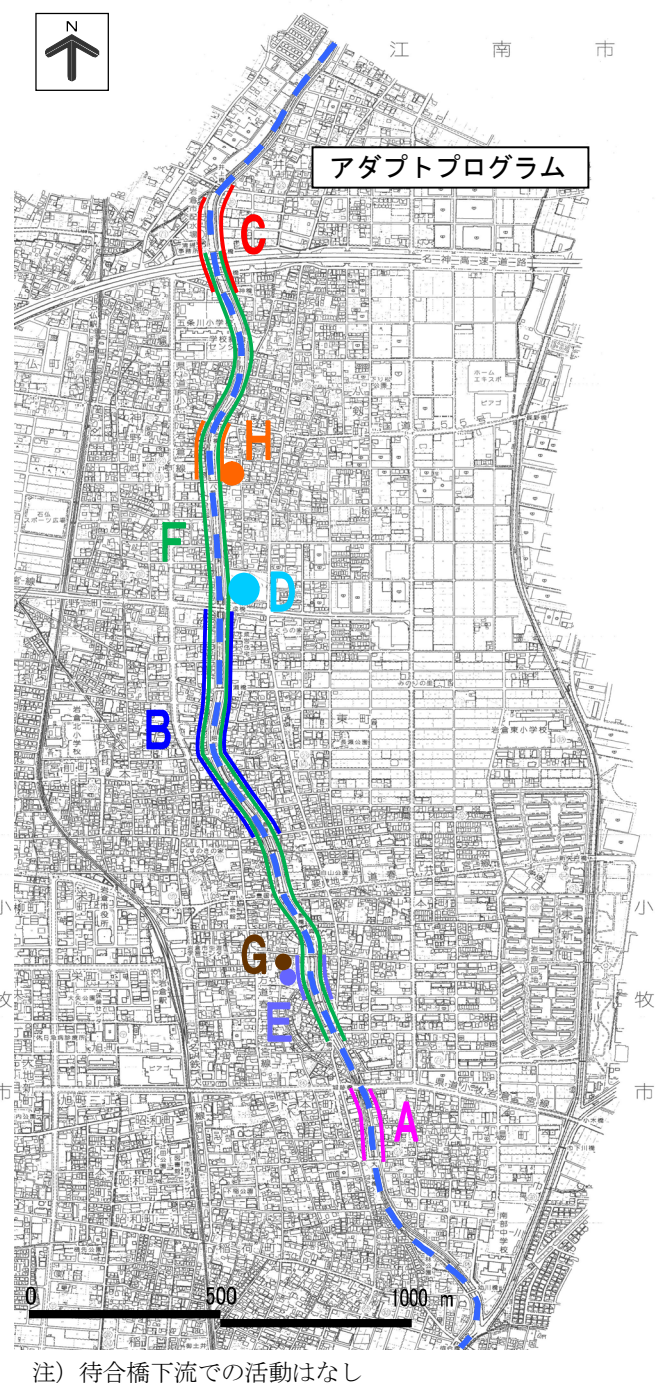
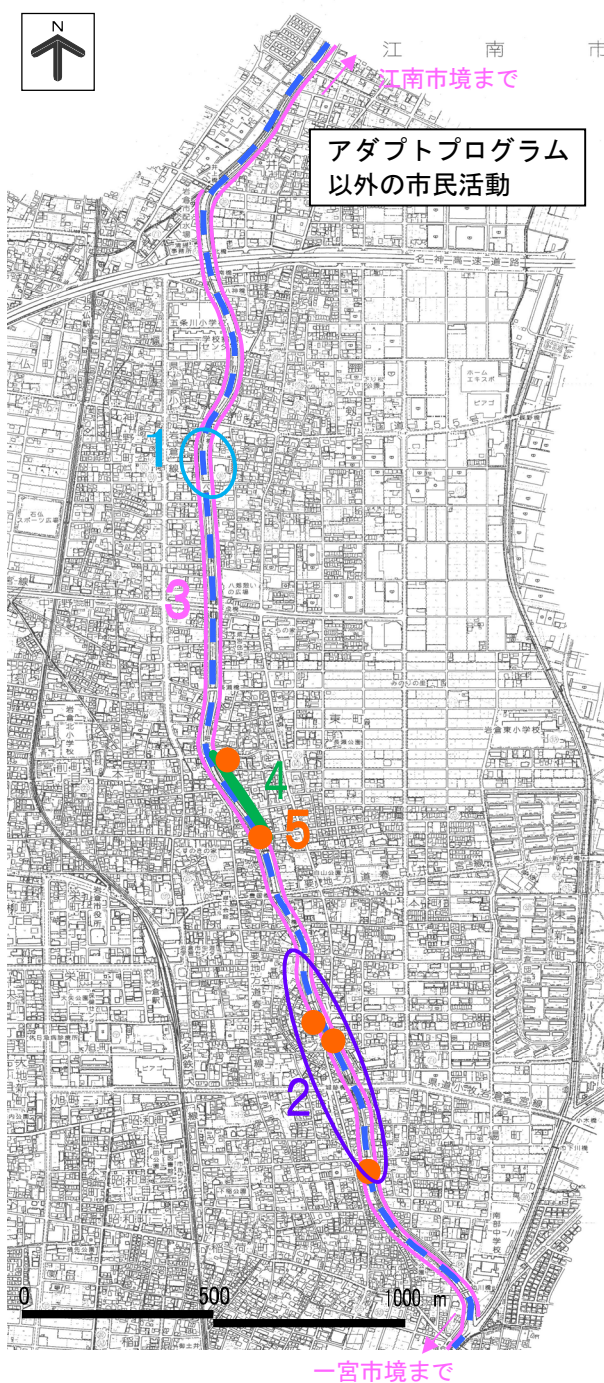
資料：市資料

図 2-1-1 アダプトプログラム登録団体数の推移

表 2-1-1 五条川に関わる市民等の活動

	活動の名称・概要	支援団体	活動内容	
1	五条川小学校 水生生物調査	岩倉ナチュラルリストクラブ	八劔中児童遊園で説明を受けたのち、川に入り水生生物の捕獲・調査を行う。終了後、児童遊園に戻り、説明を受けたのち水質調査（パックテスト）を実施する。	
2	曾野小学校 水生生物調査	岩倉の水辺を守る会	大市場橋下流から川に入り、投網の実演を見たのち、彦太橋上流部まで川の中の生物を調査（捕獲）しながら上り、お祭り広場にて捕まえた生物等の説明を受ける。	
3	桜並木の保全・管理活動	岩倉五条川桜並木保存会	桜への施肥、剪定の実施、また、五条川流域の区と協働で胴吹き・ひこばえ切りや五条川下流域の清掃を行う。 桜一本一本を調査し、桜の管理台帳を作成した。	
4	緑化ウォール事業	ふれあい花の会	昭和橋下流部（アンダーパス）～岩倉橋上流部の左岸にある緑化ウォールの管理を行う。	
5	公共施設での花植え	ふれあい花の会	東町休憩所花壇、岩倉橋のプランター、彦太橋上流部右岸堤防のベンチ部、彦太橋花壇、大市場橋のプランターの花の管理を行う。	
6	アダプトプログラム (8個人・団体)	A	(株) 丹羽工務店	五条川堤防（城跡橋～大市場橋）
		B	東町ボランティアクラブ「みどりの風」	五条川堤防（平成橋～岩倉橋）
		C	岩倉ロータリークラブ	五条川堤防（井上橋～八神橋）
		D	中本町グラウンドゴルフ「笑和クラブ」	八劔憩いの広場
		E	アメニティ・さくら	お祭り広場、五条川堤防（真光寺橋～一豊橋）
		F	個人	神野町全域の公共施設及び五条川（北橋～彦太橋）
		G	岩倉市小規模多機能ホーム・ちあき	お祭り広場及び小規模多機能ホームちあき周辺道路
		H	個人	八劔中児童遊園、五条川堤防（明治橋～八劔橋）

資料：市資料



注) 3. 桜並木の保全、管理活動は五条川沿川全域  
 その他は待合橋以南での活動場所はなし

注) 待合橋下流での活動はなし

凡例	
	五条川小学校水生生物調査場所
	曾野小学校水生生物調査場所
	桜並木の保全、管理活動場所
	ふれあい花の会 緑化ウォール事業実施場所
	ふれあい花の会 公共施設に花植え場所

凡例	
	アダプトプログラムによるアダプト場所
	アダプトプログラムによるアダプト場所

資料：市資料

図 2-1-2 五条川に関わる市民等の活動場所

## 2-2 既存の市民意向の把握

既存のアンケート調査やヒアリングなどにより、市民から寄せられた五条川に関する意見を以下に整理する。

### 2-2-1 市民意向調査（平成 20 年度）

#### (1) 調査の概要

調査の概要は、以下の通りである。

表 2-2-1 市民意向調査概要

項目	内容
調査対象	平成 20 年 8 月 1 日現在、岩倉市に在住している 20 歳以上の市民から、4,000 人（定住外国人 160 人を含む）を層化無作為にて抽出
実施方法	民間宅配業者により、調査対象者へ配布、郵送で回収
実施期間	平成 20 年 8 月 18 日～平成 20 年 9 月 5 日
回収状況	2,464 票（回収率 61.6%）

#### (2) 施策に関する満足度と重要度の評価

- ① 五条川や桜並木などの自然環境の保全・再生・活用（自然環境の保全）について他の項目に比較して、「満足度」は第 1 位、「重要度」は第 20 位である。
- ② 五条川や史跡などを有効活用した観光交流の振興（観光交流の振興）について他の項目に比較して、「満足度」は第 7 位、「重要度」は第 34 位である。

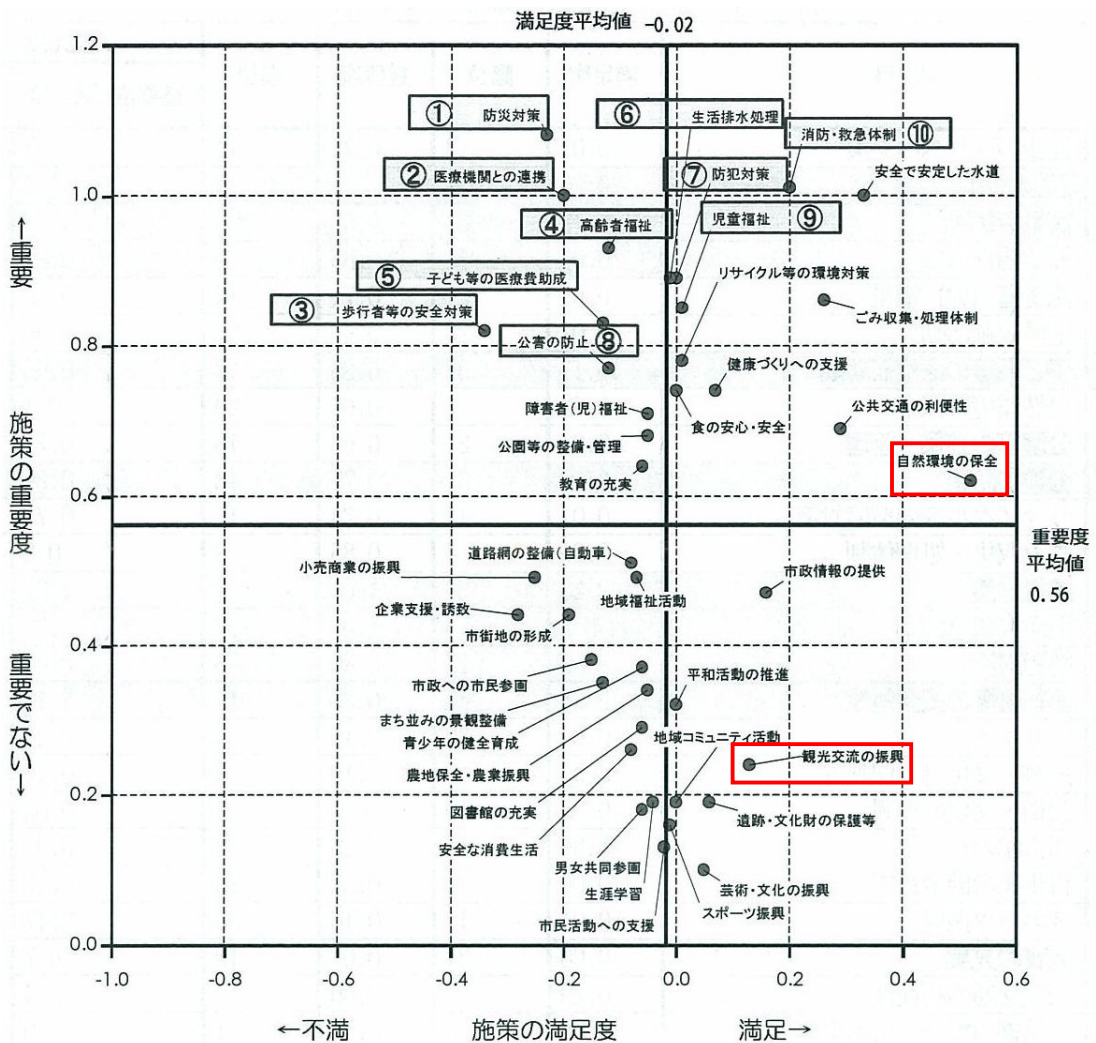


図 2-2-1 施策の満足度・重要度による散布図

### (3) 自由意見

五条川に関する自由意見を以下に整理する。

表 2-2-2 市民意向調査における自由意見のまとめ

項目	内容
公園緑地・緑化について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五条川の堤防道路を歩きやすくしてほしい。</li> <li>・五条川沿いの桜や紅葉がきれい。</li> <li>・五条川には桜並木があり、気軽に散歩できてよい。</li> <li>・五条川の桜まつりの駐車場代を市が徴収し、桜の保全のための費用としてはどうか。</li> </ul>
河川について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五条川周辺の整備を行ってほしい</li> </ul>
都市整備・再開発等について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・（県）名古屋江南線よりも西側の五条川沿いには、トイレがなく不便</li> </ul>
防災について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五条川沿いは増水の際に心配なので、護岸対策をしてほしい</li> </ul>
ごみについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五条川周辺のごみの投げ捨てが気になる</li> </ul>

【参考】暮らし・まちについての意識調査（成果指標のためのアンケート調査）

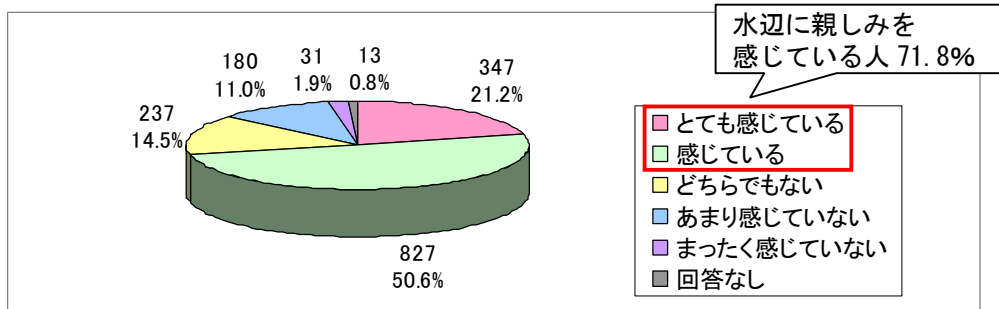
### (1) 調査の概要

- ・ 調査対象：岩倉市に在住している 20 歳以上の市民から 2,500 人を無作為抽出
- ・ 実施時期：平成 22 年 9 月～10 月
- ・ 回収状況：1,635 票（回収率 65.4%）

### (2) 調査結果

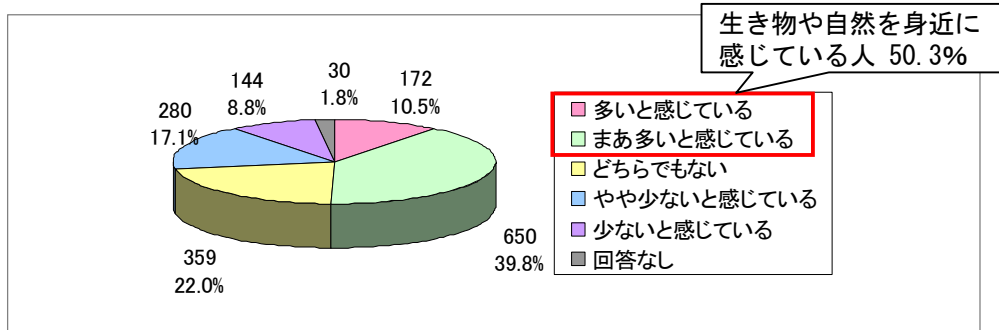
#### ①五条川などの水辺に親しみを感じているか

- ・ 水辺に親しみを感じている人は全体の 71.8%である。



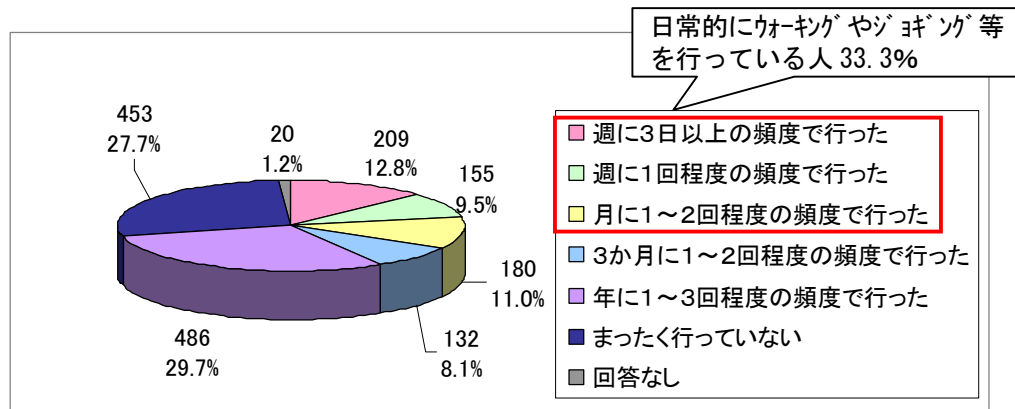
#### ②生き物や自然が身近なところにあると感じているか

- ・ 生き物や自然を身近に感じている人は全体の 50.3%である。



#### ③五条川沿いでウォーキングやジョギング、散策を行う頻度

- ・ 日常的にウォーキングやジョギング等を行っている人は全体の 33.3%である。





## 2-2-2 岩倉市緑の基本計画アンケート調査

### (1) 調査の概要

岩倉市緑の基本計画アンケート調査は、市民と事業所に区分し、以下のように実施した。

表 2-2-3 岩倉市緑の基本計画アンケート調査概要

項目	内容
調査対象	平成 23 年 8 月時点において本市に住民基本台帳登録のある 18 歳以上の市民を対象に、1,000 人を無作為に抽出 同様に、市内事業所を対象に、100 事業所を抽出
実施方法	郵送により配布・回収
実施期間	平成 23 年 8 月 12 日～8 月 31 日
回収状況	市民回答票数 464 票（有効回答率 46.4%） 事業所回答票数 48 票（有効回答率 48.0%）

### (2) アンケート調査結果

#### ① よく利用する、または気に入っている公園や水辺、緑の空間

「五条川」は 37.3%である。2 位の中央公園が 3.4%であるため、五条川は圧倒的に高い割合となっている。

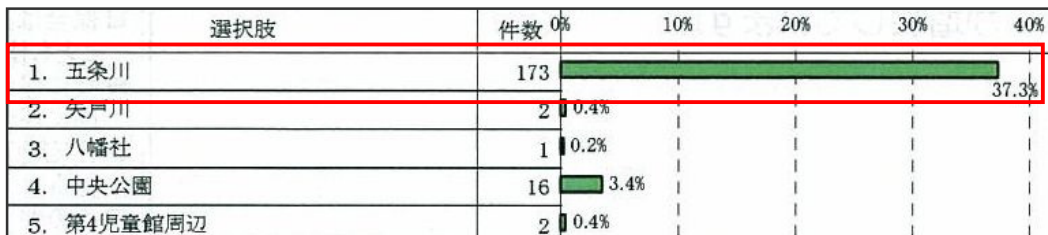
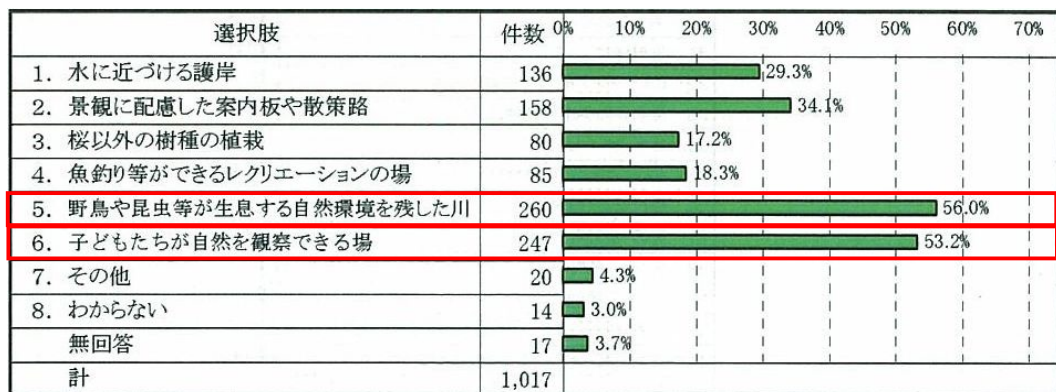


図 2-2-2 よく利用する、または気に入っている公園や水辺、緑の空間（上位 5 箇所）

#### ② 五条川の今後の整備の方向性

「野鳥や昆虫等が生息する自然環境を残した川」が 56.0%、「子どもたちが自然を観察できる場」が 53.2%と高い割合となっている。



複数回答

図 2-2-3 今後の五条川の整備の方向性

### ③ 自由意見

五条川に関する自由意見を以下に整理する。

表 2-2-4 岩倉市緑の基本計画アンケート自由意見（市民）

地域	学区	内容
北部	五条川 小学校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五条川の桜並木の美化指導。</li> <li>・五条川の桜の老朽化に対する手入れ。</li> <li>・五条川の国道155号線付近をきれいにしている方への市の対応が必要。</li> </ul>
中部	岩倉北 小学校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五条川の桜並木は保全してほしい。矢戸川の堤にも植樹を検討してほしい。</li> <li>・五条川の桜の木が50年以上過ぎており中間に新しい桜を植えると良い。</li> </ul>
	岩倉東 小学校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五条川の桜は、最高に良い。老木なので早く小木を植えるべき。</li> </ul>
南部	曾野 小学校区	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩倉市は五条川や城下町の名残を残す環境の良い町と信じて転入した。前向きにまちづくりを推進。</li> <li>・五条川に沿った道路（東・西共）の整備を願いたい。散歩、ジョギング等での利用が多く、雰囲気はとても良いと思う。距離がわかる表示を目立つようにしてほしい。</li> </ul>

表 2-2-5 岩倉市緑の基本計画アンケート自由意見（事業所）

職種	内容
小売業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・五条川を中心とした緑化への取組と、愛知県をはじめ全国に向けての緑化都市“岩倉”の積極的なPRをお願いしたい。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市として事業所に対して、緑化に対するアピール及び支援の情報が少ないため、五条川という市にとって大きな財産が有るのに、それ以外のまちが緑化に対し、積極的になれないことが残念である。</li> </ul>



## 2-2-3 岩倉市環境基本計画アンケート調査

### (1) 調査の概要

調査の概要は、以下の通りである。

表 2-2-6 岩倉市環境基本計画アンケート調査

項目	内容
調査対象	岩倉市在住の15歳以上の男女1,000人を無作為に抽出
実施方法	郵送配布、郵送回収
実施期間	平成23年8月12日～平成23年8月31日
回収状況	464票（回収率46.4%）

### (2) 岩倉市の環境に対する取組の満足度と重要度の評価

- ① 五条川などの水辺空間の保全や親水空間の創出(水辺・親水空間の保全・創出)について  
 「とても満足」「ほぼ満足」の回答割合は38.5%で、第1位となっている。一方、「非常に重要」「やや重要」の回答割合は71.5%であり、第7位となっている。
- ② 五条川沿いや岩倉街道沿いの景観・街並みの形成(景観・街並みの形成)について  
 「とても満足」「ほぼ満足」の回答割合は28.2%で、第3位となっている。一方、「非常に重要」「やや重要」の回答割合は69.4%であり、第9位となっている。

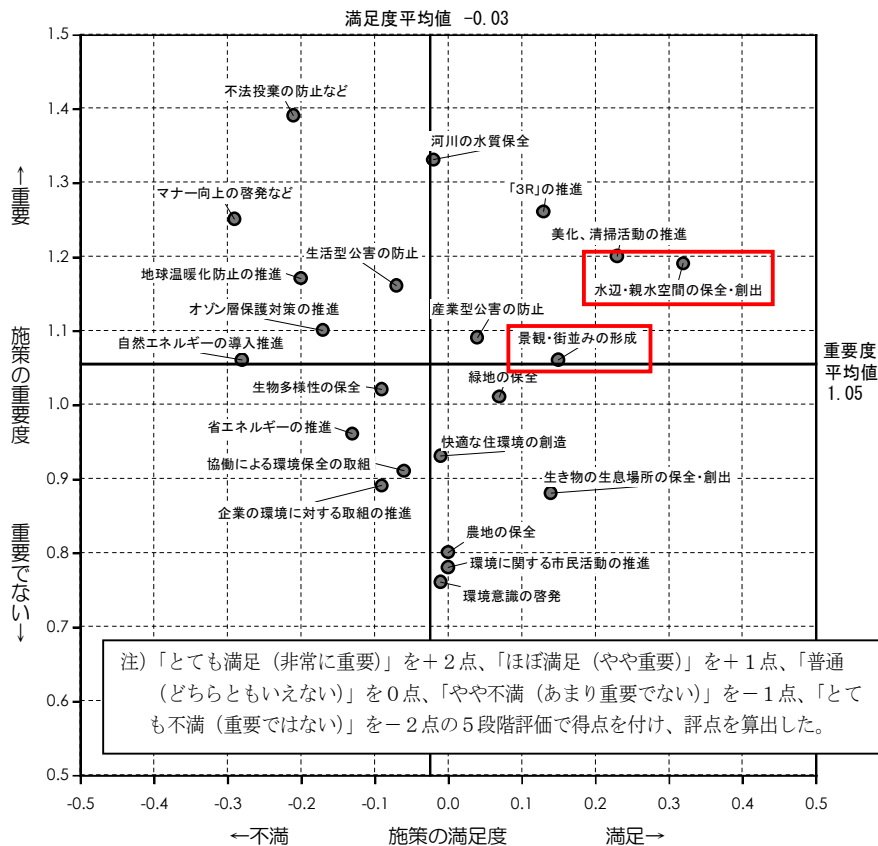


図 2-2-4 岩倉市の環境に対する取組の満足度・重要度による散布図

## 2-2-4 その他

### (1) 岩倉市タウンミーティング

岩倉市タウンミーティングにおいて五条川について挙げられた意見を以下に示す。

表 2-2-7 タウンミーティングにおける五条川に関する意見

質問・意見の概要	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>五条川の堤防道路の舗装がはがれてきているところがあり、修繕をお願いしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>市でもパトロールをしており、連絡いただければすぐに補修する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢化している五条川の桜の手立てはあるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>桜の台帳を岩倉五条川桜並木保存会に作っていただいた。これを基に伐採したほうが良いものなどを選別しながら、桜並木の保存をしていきたい。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>六呂丸地区の浸水について</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>根本的な解決としては五条川の改修を進める必要があるが、関係市町と同盟会を作って愛知県に要望している。下流部から改修を行っており改修までには時間がかかる。</li> </ul>

(平成 23 年 1 月 21 日 (金) 八剣会館)

### (2) 市民の声

「市民の声」投函箱及び FAX で寄せられた五条川についての意見を以下に示す。

表 2-2-8 「市民の声」における五条川に関する意見

質問・意見の概要	回答
<ul style="list-style-type: none"> <li>五条川の清掃活動をしてはどうか。 (平成 21 年 4 月 20 日受付)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリーンアップ五条川、クリーンチェックいわくらで市民参加の清掃活動を行っている。また、公園・道路等の美化清掃はアダプトプログラムを実施している。今後も多くの人に参加してもらえよう努めていく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>五条川沿いの歩道をトラックで走ると桜の枝が折れてしまうため、規制をしてほしい。 (平成 21 年 6 月 4 日受付)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>五条川沿いの歩道は、周辺住民の生活道路でもあり、車の通行禁止ではなく、許可車両は通行が可能となっている。給食センターのトラックの通行の際は、スピードなど十分に配慮する。桜の枝も状況に応じて剪定を実施する。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>五条川沿いについてグリーンベルトの設定、及び禁煙、禁糞、禁塵等を行ってほしい。 (平成 22 年 1 月 25 日受付)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ごみの散乱への対応は、アダプトプログラムを実施しているが、五条川堤防道路全域をカバーしていない。今後はアダプトプログラムの参加団体の拡充を図ることが課題である。</li> <li>岩倉市美しいまちづくり条例に基づき、飼い犬のマナーについて周知啓発を行っている。今後も周知啓発を粘り強く行っていく。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>五条川での釣りの禁止は、いつ、だれが、どういう理由で決めたのか。 (平成 21 年 8 月 26 日受付)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>五条川の生き物には、所有者や管理者を設定できるものではなく、また、漁業権も設定されていないため、魚取りを法的に禁止する手立ではない。</li> <li>五条川の魚を、多くの市民が、可愛がっている現状から魚取りの禁止に協力をお願いしている。</li> <li>魚を取ることを禁止するのは南部中学校南の待合橋の上流とし、待合橋から下流については自由に魚釣りをしていただくよう協力をお願いしている。</li> </ul>

## 2-3 活動団体ヒアリング調査

五条川において、市民等が主体となって行っている活動の現状、問題・課題及び今後の活動の方向性を把握するとともに、五条川における保全や改善すべき事項、また、五条川の魅力づくりに関する意向を把握することを目的に、市民などを主体とし、五条川を主なフィールドに活動を行っている団体に対してヒアリング調査を行った。調査の対象は以下の4団体であり、順次、主な意見を示す。

- ・岩倉ナチュラリストクラブ
- ・岩倉五条川桜並木保存会
- ・岩倉の水辺を守る会
- ・東町ボランティアクラブ「みどりの風」

### (1) 岩倉ナチュラリストクラブ

		主な意見
活動団体について	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会員は 20 名ほどであり、中学生や大学生も在籍しているが、主なメンバーが高齢化しており、また、近年、会員数も減少傾向にある。</li> <li>・普段は自然生態園をメインに活動しているが、市内の五条川沿川を歩きながら解説する観察会を行っている。</li> <li>・毎年、五条川小学校の水生生物調査を支援している。</li> <li>・水辺まつりでは、五条川探検隊として生物の観察などを実施している。</li> </ul>
	今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・岩倉市内の生物観察マップを作成したい。</li> <li>・希望の家に近接した貯留池に入って観察を行いたい。</li> <li>・自然が自然のまま残っているものを観察したい。</li> </ul>
五条川の現状・改善点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹林公園付近などは良い自然観察場所であり、五条川で見られる生物の説明など情報案内があると良い。</li> <li>・子供が川で遊んでいるのを見掛けない。親水護岸付近でもイベント時以外は少ない。</li> <li>・国道 155 号線から八剱憩いの広場付近までは、岸に草があまり生えておらず、生物のすみかが少ない。</li> <li>・一昔前の川の汚れはなくなったが、昔の川のきれいさは取り戻せてはいない。</li> <li>・冬は流量が少ない。</li> <li>・より自然に近い環境にするために、自然工法で整備するべきである。</li> </ul>
市民等の活動促進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・五条川の生物を食すことで、親しみを感じ、新たな楽しみが増える。(ザリガニ、シジミ、ツクシなど)</li> <li>・七草の観察会などでは七草粥等を提供しているが、会員数が少ないので人手が足りず、たくさんの人に来てほしいとPRできないのが残念である。</li> <li>・ナチュラリストクラブの月報は市役所でも見るようにしている。</li> <li>・汚水処理場などの敷地を開放して、木を植えるなど、自然観察が楽しめる場所になれば良い。</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和 30 年頃、馬が堤防を走る祭りがあったように記憶している。</li> <li>・昔は、洗濯をする、野菜を洗う、カニを捕って売る、ナマズを捕って奉納するなど、五条川が今よりもずっと生活に密接していた。</li> <li>・河川管理の際の、生物の保全や駆除の参考として、一宮建設事務所が作成を予定している五条川の生物マップづくりに協力している。</li> </ul>

## (2) 岩倉五条川桜並木保存会

		主な意見
活動団体について	団体の現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 一般会員は 96 名であるが、活動に毎回参加するのは 20 名程度である。年に 5 回ほど開催する勉強会に参加してくれる人が増え、これにより会員も若干ではあるが増加傾向にある。</li> <li>・ 樹木医から指導を受け、自分達でやれることを模索しながら活動している。</li> <li>・ 枯れ枝やひこばえの剪定等で生じた枝の後始末は市に応援を依頼しているので、活動が平日に限られてしまう。</li> <li>・ 高い位置の枝の剪定は業者に頼まないとできない。</li> </ul>
	今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 桜の植え替えは河川法上難しいので、良いひこばえがあれば、それに目印をつけて剪定しないようにし、現状の桜の後継木として育てる試みを行っている。</li> <li>・ 桜と桜の間隔は 8～10m が理想であるが、現在は 4m 程度しかないため、将来的には間引きを行いたい。</li> <li>・ 岩倉五条川桜並木保存会の総会には、商工会長や桜に関係があると思われる人は来賓に招いているが、そういう人と情報交換をする場をもっと増やしたい。</li> </ul>
五条川の現状・改善点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 流域住民の中には、桜があることによって毛虫や落ち葉などが多く発生するので、桜を迷惑に思っている人もいるようである。</li> <li>・ 休憩場所（トイレ）が少ないので、高齢者が散策するには不便を感じる。沿川の空き家等でボランティアがお茶を提供するサロンのようなものがあると良い。</li> <li>・ 川で遊ぶには、水量と流れが足りないので改善すべきである。水量が増えれば水はきれいになるし生物も増える。</li> <li>・ 桜の根を車が踏みつけてしまうので、根がある地点はアスファルトで覆わないようにしてほしい。同様に、防災ベンチなどの設置位置にも配慮してほしい。</li> <li>・ 今までの五条川の整備計画では桜はあって当たり前のものであったが、今後の計画では桜の維持についても触れるべきである。</li> <li>・ 市内の五条川とその沿川は一つの大きな公園であるというイメージで保全すべきである。今のままではただの散歩道であるので、兩岸とも公園のように整備してほしい。</li> <li>・ 桜の保全について、行政の本気度が足りない。また、地元企業も自分のことと思って協力してほしい。</li> </ul>
活動促進の市民等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ チラシの全区配布を行って、市民にこういった会があることを PR している。</li> <li>・ 子供のころから桜に親しむ教育が必要である。</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 先日議会で可決された岩倉市自治基本条例の中では、「五条川の桜並木の保全」が明文化されている。</li> <li>・ 桜まつりの観光客などによって売り上げがあることも目を向けてもらい、地元の商工会等も協力をお願いしたい。</li> </ul>

### (3) 岩倉の水辺を守る会

		主な意見
活動団体について	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員数は約 600 人であり、ほとんどが市内在住である。近年の会員数は横ばいである。会としては成熟している。</li> <li>・ 設立から 27 年が経過し、他団体と連携も密に行っており、会の存在が市民にも認知されている。また、子どもの時期に参加した人が大人になり、また活動に参加しており、世代を超えて参加している。</li> </ul>
	今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短期では、待合橋下流で魚釣り場の整備を実現したい。五条川では魚釣りをできる場所を明確にする必要がある。</li> <li>・ 中期では、竹林公園北の護岸改修及び人道橋の整備を実現したい。竹林をどのように利用するか考える必要がある。竹林公園は地域で管理できるようにしてはどうか。</li> <li>・ 長期では、(都)桜通線の整備に伴うお祭り広場の拡張整備や希望の家周辺の整備が実現できることを期待したい。</li> </ul>
五条川の現状・改善点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八剣憩いの広場など、第 2 次計画で整備計画を描いた施設の整備が進んでいない。また、整備された内容が第 2 次計画に即していないような状況もある。</li> <li>・ 今回の第 3 次計画を含めると足かけ 45 年間になり、少しずつ継続して進めていることはうれしく感じる。ただし、五条川や桜が市のシンボルというなら、もっと力を入れてほしい。</li> <li>・ 八剣憩いの広場から国道 155 号までの河道（低水路）を蛇行させて、生物が棲めるようにすると子どもたちも楽しめる。まずはテストケースとして実施すれば良い。</li> <li>・ 第 2 次計画のモデル地区整備計画は、優先順位、予算、時代背景などもあるが、全く無視することができない。新たに肉づけしたり、取捨したりする必要がある。</li> <li>・ 魚釣り場は、第 2 次計画にあるように名鉄線の西が PR 効果も高く適している。</li> <li>・ 自然環境の保全・創出の観点では、画一的な植生では不適當であり、桜以外の樹木もあって良い。例えば、桜なども区間によってバリエーションを持たせると良い。</li> <li>・ 堤防道路は、自動車の通過をもう少し不便にして、人を優先にしても良い。</li> <li>・ 特に冬季に水量が少なくなり、水質が悪化する。これを改善し、生物の生息空間を確保するためにも低水路の整備が必要である。</li> </ul>
活動促進 市民等の		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 活動を広げ、マンネリ化を解消するため、イベントになど責任をもって役割を果たしてくれる人材や仲間が必要である。</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 岩倉駅を出たら川があるぐらいの発想がほしい。岩倉は面白い、また来たいと思うことにつながる。利便性も良いが、楽しさも必要である。</li> <li>・ 岩倉の特性（駅が 3 つある、川がある、歴史もある、市域が狭いなど）をまちづくりにまだまだ活用できていないと思われる。</li> <li>・ ソフトとハードの両立が大切である。ハードと合わせて、その維持管理を考える必要がある。</li> <li>・ 計画は定期的にフィードバックし、修正・コントロール・見直していく作業が大切である。</li> <li>・ 第 3 次計画では、第 1 次計画、第 2 次計画の考え方を踏襲しながら、どこまでを残して完成させるかを考える必要がある。5 年先は良いかも知れないが、15 年先の計画図を示すことは難しいようにも思う。</li> </ul>

#### (4) 東町ボランティアクラブ「みどりの風」

		主な意見
活動団体について	現状	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 会員数は 79 名で、70 歳代の方が中心となって活動している。近年も増加傾向にある。</li> <li>・ 東町の区民の方々や役員等にも活動に理解を得ている。</li> <li>・ アダプトプログラムである毎月 1、15 日の岩倉橋～平成橋の五条川堤防の清掃活動をはじめ、神明社境内や東町の道路、長瀬公園の清掃活動、防災訓練、グラウンドゴルフや芋煮会などのイベントも数多く行っている。</li> </ul>
	今後の展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現状の活動を継続していく。</li> <li>・ 清掃活動は、老人会から子供会までいろいろな人と協力して行えると良い。</li> </ul>
五条川の現状・改善点		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内の五条川上中流の右岸地域における公共下水道を早期に整備することで、水質の改善が期待できる。</li> <li>・ 桜まつりの行われる五条川の上中流地域は水深も浅く流れも緩やかなため、期間中にゴムボート等を用いて船上から花見をしてもらってはどうか。</li> <li>・ 五条川の堤防にヤギを係留し除草を行ってはどうか。子供連れの散策が増えて、沿川が活気づくと思う。</li> <li>・ 五条川沿川には岩倉市のみならず歴史的な施設が多く存在するので、「歴史ウォーキングさくらライン」としてウォーキング協会に登録し、定期的にイベントを開催してはどうか。</li> <li>・ 犬の糞害が多い。特に目につきにくい夜に犬の散歩をしている人のマナーが悪いように感じる。ウォーキングをしている人に腕章をつけてもらい、監視に協力してもらえないか。</li> <li>・ 冬は流量が少ないため、木津用水からの流量を増やせないか。</li> <li>・ 秋には桜の落ち葉が多いので、沿川の住宅に落ち葉を回収するための袋を配布すると良い。</li> </ul>
市民等の活動促進		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本来は利用させてもらっている人がその場所を清掃するべきなので、その意識を持ってもらうことが大事である。</li> <li>・ 沿川のウォーキングの啓発につなげてほしいとの思いから、橋間を歩いた時の距離と消費カロリーのデータを商工農政課に提供している。</li> <li>・ 「みどりの風」では、クリーンアップ五条川の際、尾北自然歩道東町休憩所にて豚汁を提供している。清掃活動をはじめとした活動を継続的に行うためには、食べ物やイベントなどの楽しみを取り入れる必要がある。</li> </ul>
その他		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市役所において五条川を担当する所轄課を一本化し効果的な行政指導を行うべきである。また、課の名称は市民から募集し、親しみやすくすると良い。</li> <li>・ なぜ、掘割堤である五条川に桜を植えることができないのか疑問に思っている市民が多い。市から愛知県へもっと働きかけてほしい。</li> <li>・ 地域の人が集まる機会があることで、独居老人を減らすことにもつながる。</li> </ul>